

御中

ドキュメント種: 製品紹介資料  
お得意様名:  
システム名: EditionFlex V1

第一版 平成22年 10月 5日  
第二版 平成22年 12月 15日  
第三版 平成22年 12月 21日

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

--	--	--	--	--

# 1 Edition Flex エディター

■ Edition Flexエディターは、ブラウザ上で印刷用のドキュメント編集を可能とします。ドキュメントを編集するお客様は、ブラウザとAdobe Flash Player以外にソフトウェアやフォントを用意する必要はありません。

■ 印刷用途の高品位フォントは、Edition Flex が稼動するサーバーにライセンスしてあれば、クライアント毎に用意する必要はありません。



■ Edition Flexエディターが編集できるドキュメントは、Edition BackStage (注1)で制作したテンプレートです。テンプレートはEdition Flexエディターで編集した後、印刷用途を含む高品位なPDFで出力できます。

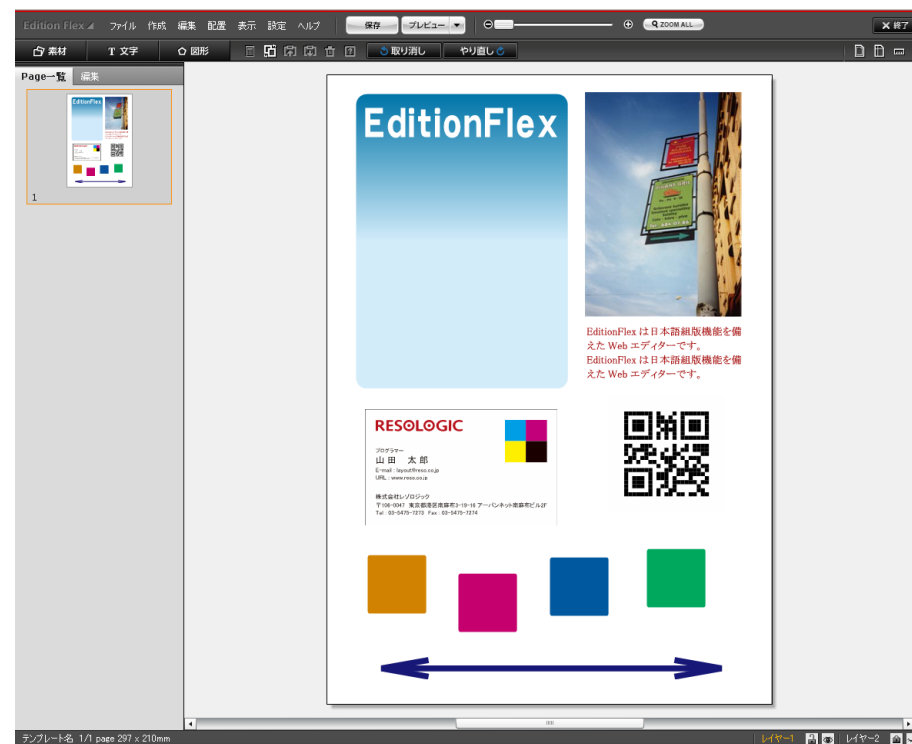
■ Edition Flexエディターでドキュメントを編集されるお客様のニーズは、DTPのような高度な編集から、簡単な素材の入れ替えや文字の変更まで、様々です。そこで、Edition Flexエディターでは、お客様の目的に応じて機能のカスタマイズ(取捨選択)を可能にしています。



■ Edition Flexエディターの機能のカスタマイズには、プログラムの改修は必要ありません。機能設定用のデータファイルを、ユーザグループやテンプレート毎にご準備いただくことで可能となります。

■ Edition Flexエディターは、サーバ上のフォントによる編集、高度な日本語組版処理やCMYKによるシビアな色指定といった印刷をターゲットとした機能を備えています。しかし、お使いになるお客様は、カスタマイズされたインタフェースによって、それらを意識しないで利用することができます。

■ Edition Flexエディターは、デザイナーや専門オペレータでないお客様に特別なツールを必要とせず、印刷用データの編集を可能にするソリューションです。



■ Edition Flex の対象ブラウザ: Internet Explorer 7x 8x  
Chrome 6x  
Fire Fox 3.6.x

■ Edition Flex で必要なソフトウェア: Adobe Flash Player 9x 10x

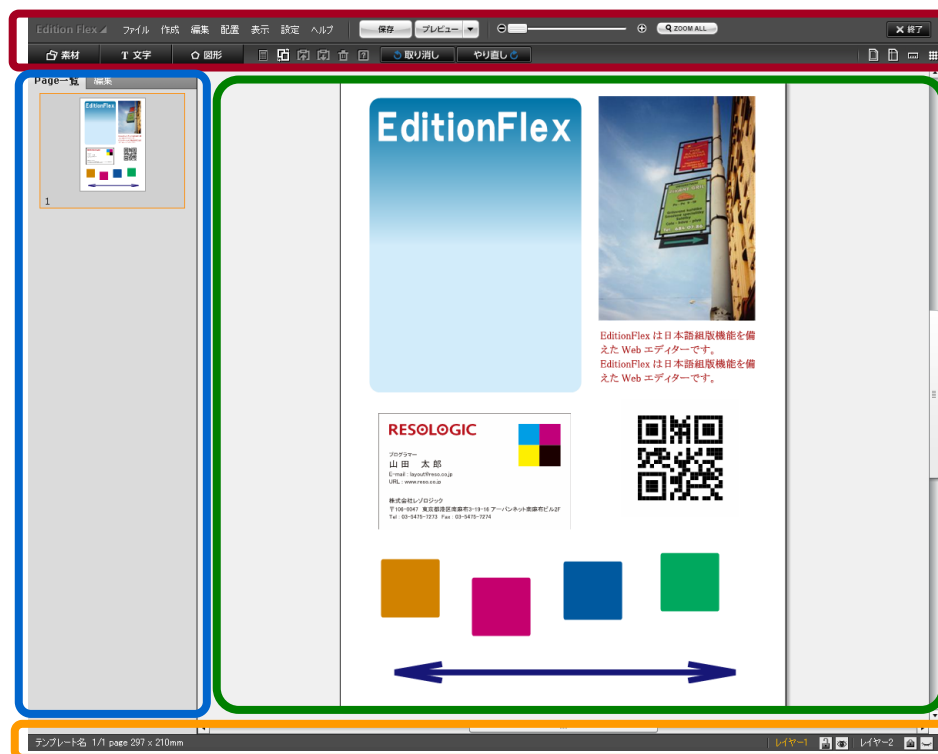
(注1) Edition BackStageは、Edition Flexのテンプレート制作と素材を含めた管理を行う環境で、別途弊社から利用環境やシステムとしてライセンスさせていただく製品です。

## 2 Edition Flex エディターの構成

■ Edition Flex エディターは、下図のように、4つのエリアで構成されます。このうち編集エリアのみがFlash Playerによって表示されます。

■ 編集エリア以外の3つのエリアには、メニュー、コマンドボタン、コマンドアイコン、パラメータ設定インターフェイス等が表示されます。それらは、お客様の目的によってカスタマイズ(取捨選択)して使用することができます。

■ 編集対象となるテンプレート毎に編集インターフェイスのカスタマイズが可能となることに加え、ユーザグループ毎に編集インターフェイスのカスタマイズが可能です。したがって、同一のシステムであっても、テンプレート毎に各ユーザに最適なインターフェイスを提供できます。



トップメニュー

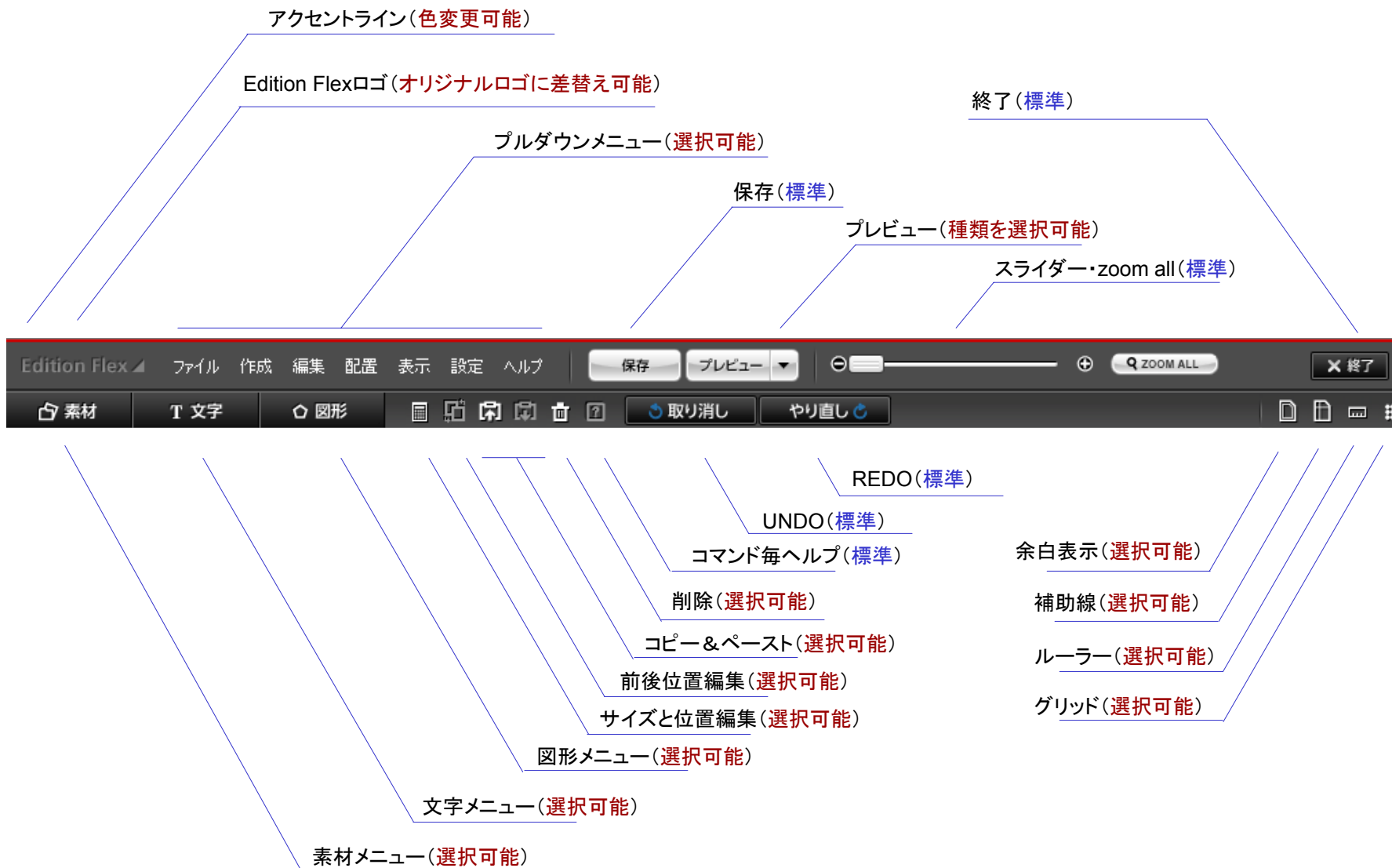
サイドパネル

編集エリア

ボトムバー

### 3 トップメニュー

■ トップメニューの各部の機能と、カスタマイズ対応は以下の通りです。



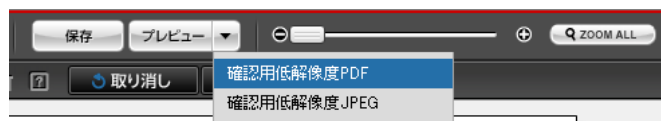
## 4 トップメニュー — プルダウンメニュー

■ 7種のプルダウンメニュー例を以下に示します。7種のメニューは取捨選択可能で、それぞれの配下のメニューも、必要なものを設定することができます。

Edition Flex ▲ ファイル 作成 編集 配置 表示 設定 ヘルプ

ファイル	作成	編集	配置	表示	設定	ヘルプ
ライブラリ1	文字	拡大	座標・回転	拡大	デザイナーモード *	ヘルプ
ライブラリ2	段組文字	縮小	上へ	縮小	ユーザーモード2 *	ヘルプ
カセット	複合文字	コピー	下へ	全体表示		ヘルプ
素材アップロード	文字アーチ	ペースト	左へ	上へ		ヘルプ
エクセルアップロード	QRコード	削除	右へ	下へ		ヘルプ
ページ一覧	直線	グループ	左回転	左へ		ヘルプ
保存	長方形	グループ解除	回転を戻す	右へ		ヘルプ
終了	円	マスク	右回転	余白表示切替		ヘルプ
	楕円	矩形切抜き	前面へ	ルーラー表示切替		ヘルプ
	円弧	多点切抜き	背面へ	レイヤー1に作図		ヘルプ
	楕円弧	円・楕円切抜き	最前面へ	レイヤー1表示切替		ヘルプ
	連続線	操作の取消	最背面へ	レイヤー2に作図		ヘルプ
	多角形	取消操作のやり直し	上揃え	レイヤー2表示切替		ヘルプ
			上下の中心揃え			ヘルプ
			下揃え			ヘルプ
			左揃え			ヘルプ
			左右の中心揃え			ヘルプ
			右揃え			ヘルプ
			上下の均等揃え			ヘルプ
			左右の均等揃え			ヘルプ

## 5 トップメニュー — 保存／プレビュー／ズーム



■ 保存: 編集中的数据を保存して編集を続けます。標準コマンドです。

■ プレビュー: 確認用低解像度PDF、確認用低解像度JPG、高解像度PDF、高解像度JPGの4種から任意組合せでメニューを提供できます。

確認用低解像度データでは、誤用を防止するために、SAMPLE 等の任意の文字をドキュメント上にマーキングしたデータとすることができます。



■ ズーム: スライダーバーとZOOM ALL (全体表示)ボタンを提供します。標準コマンドです。

## 6 終了



■ 終了: Flexエディターを終了し、編集完了画面を表示します。編集完了画面は、Flexエディターを用いる様々なWebアプリケーションに遷移する橋渡しの画面となります。以下の画面を標準として、カスタマイズしてご利用いただけます。



## 7 トップメニュー — 素材メニュー／文字メニュー／図形メニュー

■ 素材／文字／図形：それぞれのコマンドボタン群をサイドパネルに表示します。3つのコマンドボタンそのものの有無や、配下のコマンドに何を使用するかを設定することができます。



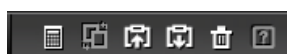
## 8 トップメニュー — サイズと位置／前後位置／コピー&ペースト／削除

■ サイズと位置／前後／コピー&ペースト／削除：これらのコマンドアイコンは要素選択時に使用可能となります。

■ サイズと位置：選択している要素を数値指定で正確に調整することができます。要素を選択中にクリックすることで、下図のような設定インターフェースをサイドパネルに表示します。



■ 前後：選択している要素の重なり順を編集することができます。要素を選択中にクリックすることで、下図のような重なり順を編集するコマンドアイコンが、サイドパネルに表示されます。



Page一覧 サイズと位置

◎ サイズ

幅: 209 mm  
高さ: 158 mm

◎ 倍率

幅: 281 %  
高さ: 283 %

配置時の基準点:

位置・回転:

X座標: 104 mm  
Y座標: 78 mm  
回転角度: 0 度

キャンセル OK

Page一覧 重なり順編集

重なり順編集:

最前面へ 前面へ 背面へ 最背面へ

キャンセル

■ コピー&ペースト：要素を選択中に左側のコピーアイコンをクリックすることで、選択した要素をクリップボードにコピーし、右側のペーストアイコンが有効になります。

ペーストアイコンをクリックすると、クリップボードの要素が配置待ち状態になります。編集エリアでカーソルを左クリックすることで、要素が配置されます。

■ 削除：要素を選択中にクリックすることで、選択中の要素を削除します。

■ 以上の編集コマンドは、テンプレートを制作する際に、要素に対し、それらの編集を許可していないと実行できません。そのことで、不用意な誤編集を防ぐことができます。



■ 以上のコマンドは、それぞれ個別にユーザに提供するか否かを設定することができます。

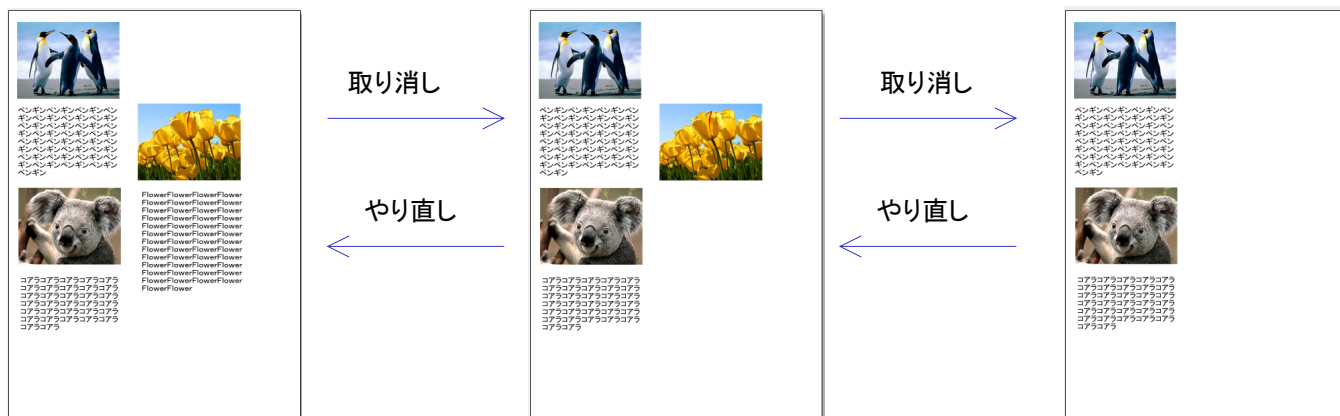
## 9 トップメニュー — 取り消し／やり直し



■ 取り消し: 編集画面上で行った編集操作を、クリックの都度、1手順ずつ取り消して元に戻すことができます。

■ やり直し: 取り消し操作で取り消した編集を、クリックの都度、1手順ずつ回復することができます。

■ 編集操作はシステムが記録しており、記録した範囲で 取り消し と やり直し が可能です。保存操作により記録は一旦クリアされますので、保存操作以前の状態に戻すことはできませんが、保存操作前であれば、基本的には制限無く取り消し、やり直しが可能です。



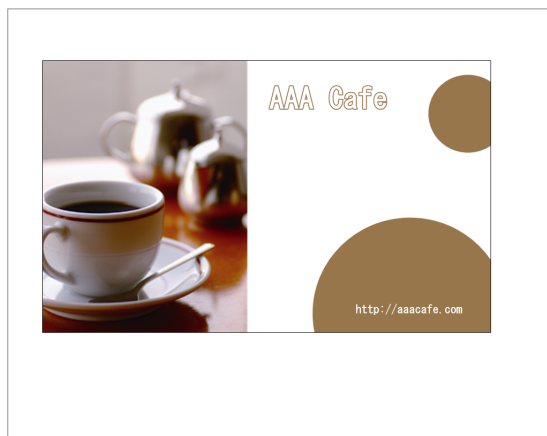
## 10 トップメニュー — 余白表示



■ 余白表示アイコンのクリックで、下図のように、仕上がり表示と余白表示が切り替わります。

余白エリアは、テンプレート制作時に設定することができます。余白機能によって、印刷で多用される ヌリタシ 裁ち落とし トンボ 仕上がり外へのバーコードや文字記入等に対応することができます。

余白表示コマンドをユーザに提供するか否かは、テンプレートやユーザグループ毎に選択可能です。



仕上がり表示



余白表示

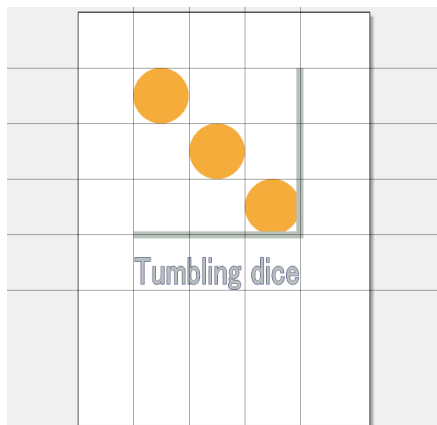
## 11 トップメニュー — 補助線



■ 補助線ダイアログを表示し、編集作業のガイドとなる補助線を作成できます。

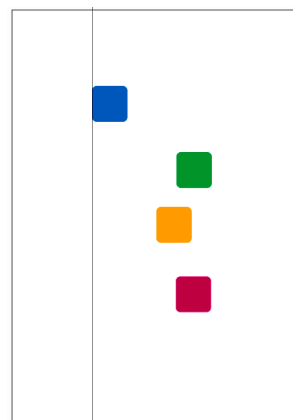
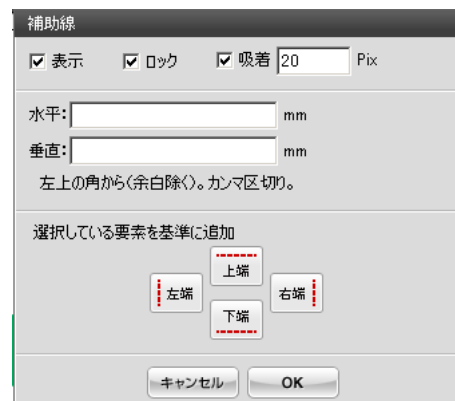


補助線のロックや吸着、数値入力による一括作成に対応しています。

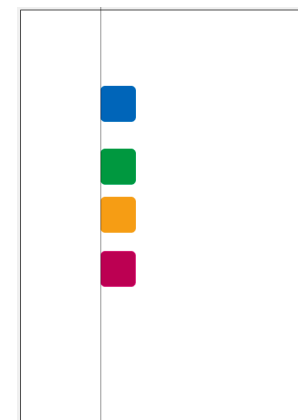


上記のダイアログで作成した補助線例

■ 要素を選択した状態で補助線アイコンをクリックした場合は、下図のように選択した要素を基準とした補助線を作成可能となります。



青い矩形の左側に  
補助線を作成



整列例

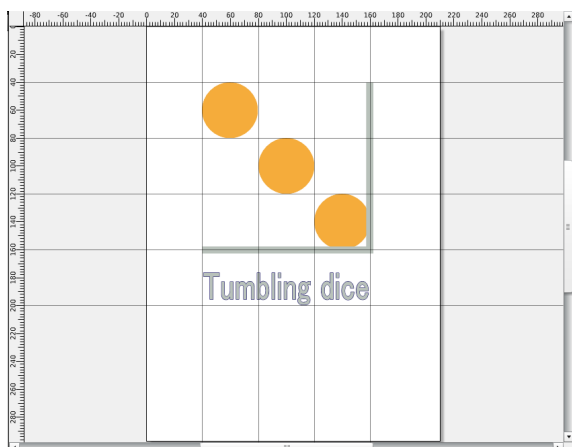
補助線コマンドをユーザに提供するか否かは、テンプレートやユーザグループ毎に選択可能です。

## 12 トップメニュー — ルーラー



■ 編集画面に、編集作業のガイドとなるルーラー（メジャー）を表示します。下図のように補助線と併用すると効果的です。

ルーラーを表示しておけば、ルーラーからのカーソルドラッグで補助線を簡単に作成することもできます。



ルーラーコマンドをユーザに提供するか否かは、テンプレートやユーザグループ毎に選択可能です。

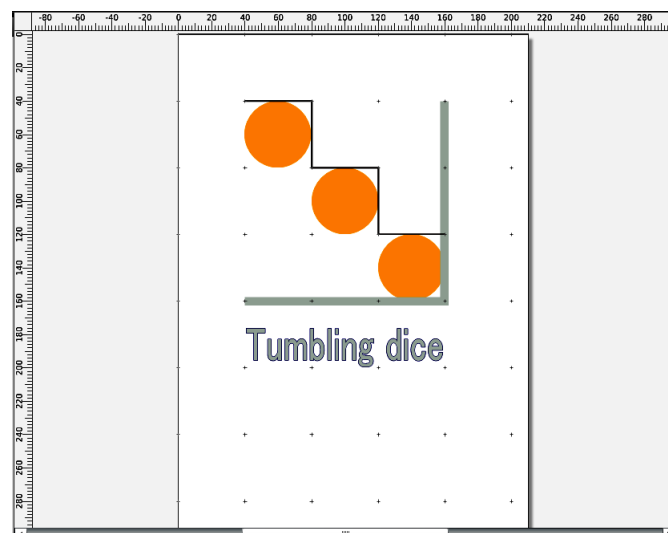
## 13 トップメニュー — グリッド



■ グリッドダイアログを表示し、編集作業のガイドとなる格子状のグリッドを作成できます。



吸着や原点調整に対応しています。



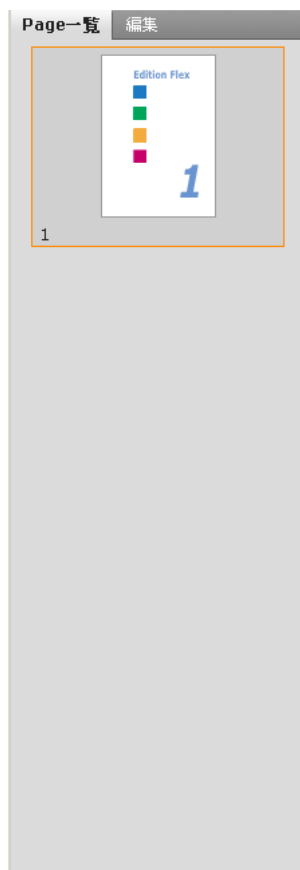
上記のダイアログで作成したグリッド例

グリッドコマンドをユーザに提供するか否かは、テンプレートやユーザグループ毎に選択可能です。

## 14 サイドパネル — Page一覧

■ サイドパネルは、初期状態ではPage一覧が表示されます。各ページのサムネイルをクリックすることで、編集対象のページを移動することができます。

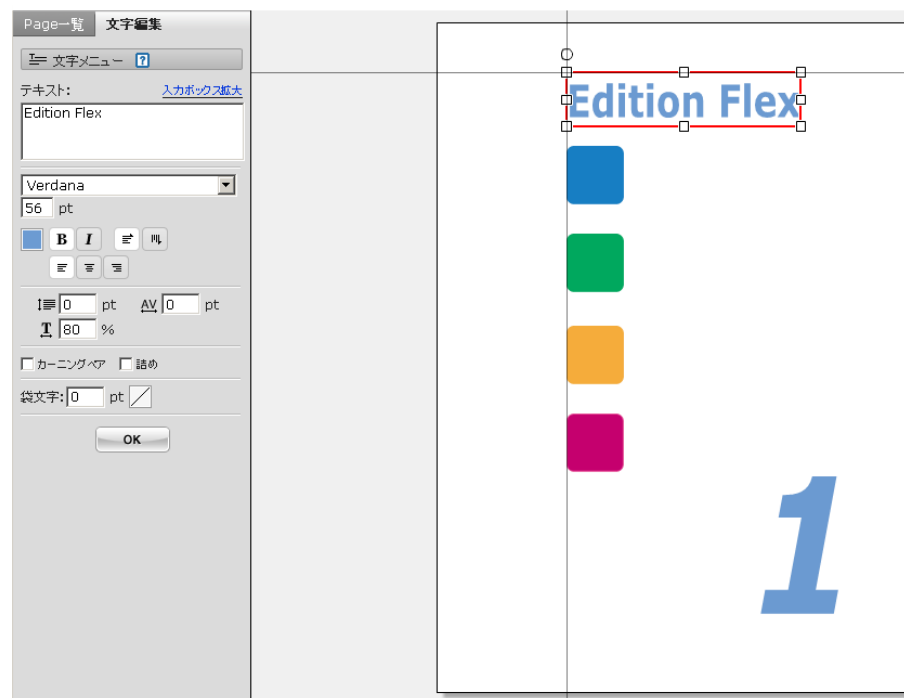
Page一覧は、サイドパネル上部の Page一覧 タブをクリックして、何時でも表示することができます。



## 15 サイドパネル — 要素編集

■ 編集画面上で要素をクリックして選択すると、サイドパネルは、選択要素に応じた編集パネルが表示されます。下図では、テキストが選択されていますのでテキストの編集パネルが表示されています。

選択した要素が1つの場合は、選択要素の編集パネルが表示され、選択した要素が複数の場合には、グループ化や整列などの複数要素に対して行えるコマンドが表示されます。Flexエディタは、このように、選択したオブジェクトに応じて操作すべき機能を表示します。



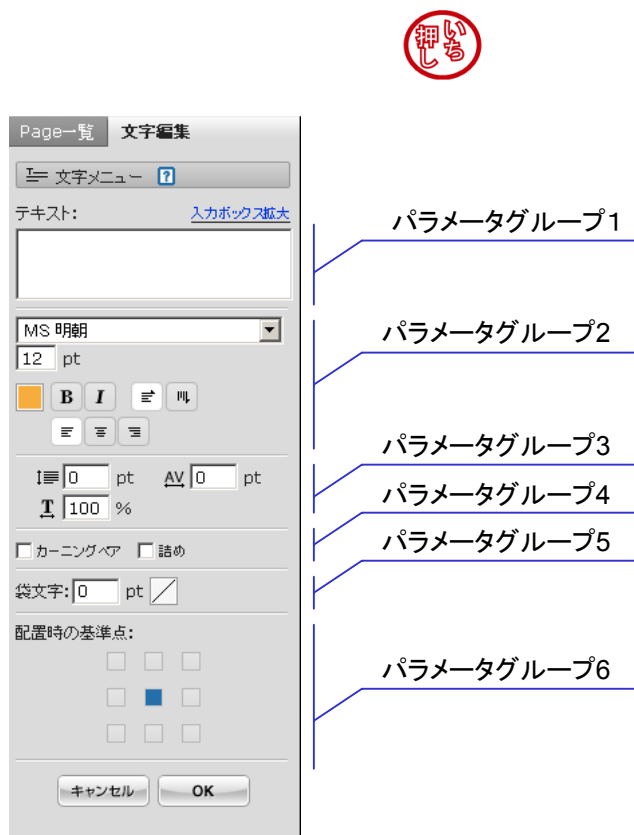
## 16 サイドパネル — 作図パラメータのカスタマイズ

■ 要素に応じた作図のためのパラメータは、サイドパネルに表示されます。パラメータは、罫線でいくつかのグループに分割されています。

例えば、文字の場合は下図の6つのグループがあります。

Edition Flex エディターでは、このパラメータグループ毎に、ユーザに提供するかどうかを、テンプレート毎、ユーザグループ毎に設定することが可能です。

設定は、すべてのコマンドを対象に、データファイルのメンテナンスだけで行えます。



たとえば、下図のようなパラメータのバリエーションとすることができます。(組合せも自由です。)

編集の目的やユーザ様のスキルにあわせて編集画面のカスタマイズが可能です。



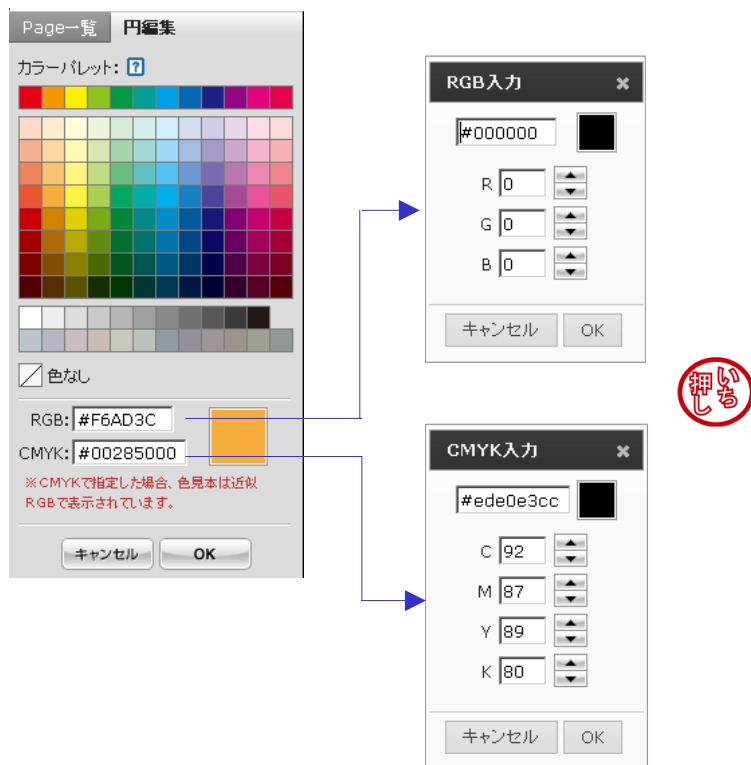
## 17 サイドパネル - カラーパレット

■ 要素の色指定のためのカラーパレットを下图に示します。

パレット以外の色を直接数値で指定可能です。RGB/CMYKのどちらからも指定することができます。

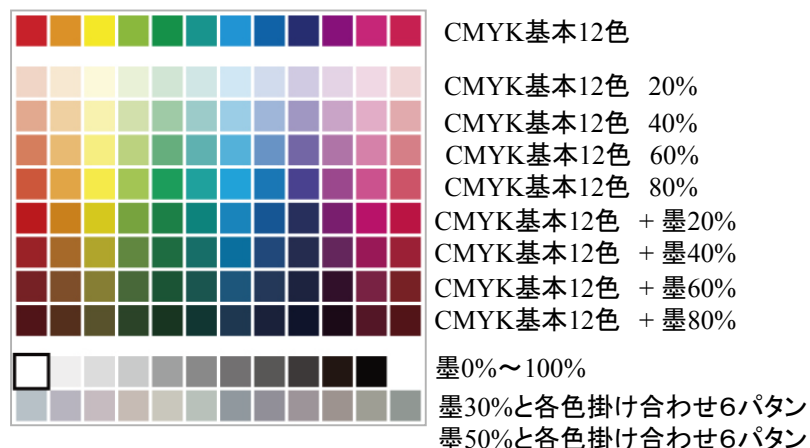
RGBを印刷のためにCMYKに置き換える際の、カスタム変換色テーブルをテンプレート毎に指定することができます。

カスタム変換色テーブル以外にも、システムが持つ変換色テーブルや、ICCプロファイルに沿ったRGB、CMYK変換ロジックを適用させることもできます。(adobe RGB to Japan 2001 coated 等)



数値による色指定を、ユーザに提供するかどうかは、テンプレート毎、ユーザグループ毎に設定することが可能です。

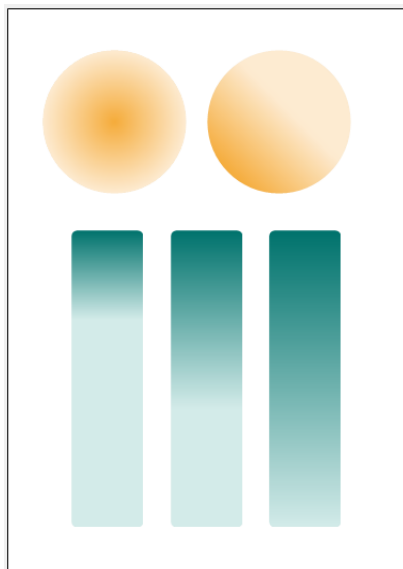
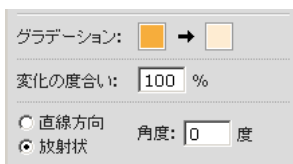
標準パレットのレイアウトを下图に示します。



## 18 グラデーション

- 要素の塗り色にグラデーションの適用が可能になりました。

下図のように、放射状と直線状(任意角度)の2モードに対応します。変化の割合を数値で指定可能です。



## 19 数値入力アシスト

- 作図パラメータの入力時等に、数値入力のテキストボックスをアクティブにすることで、下図のような数値入力アシストダイアログが表示されます。

整数入力のみパラメータの場合は小数点キーが非表示となり、マイナスの入力を許可しないパラメータの場合はプラス/マイナスキーが非表示となり、入力をアシストします。

パラメータとして範囲を超えた入力の場合にアラートが表示されます。

本ダイアログが表示されていてもキーボード入力を受け付けますので、キーボードに手慣れた方でも違和感なくご利用いただけます。



## 20 素材ライブラリ／カセットライブラリ

■ 素材メニュー例に、ライブラリ1～3とあります通り、複数のサーバの素材を、1つの編集画面から参照することが可能です。

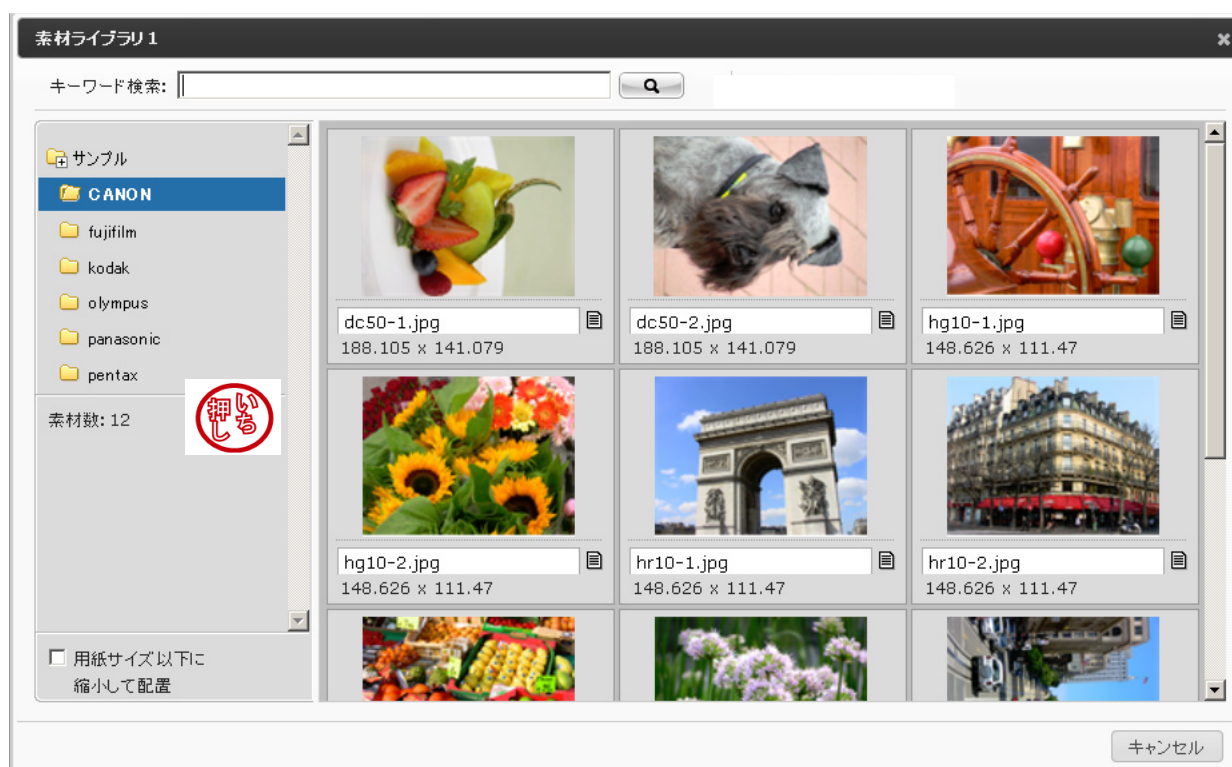
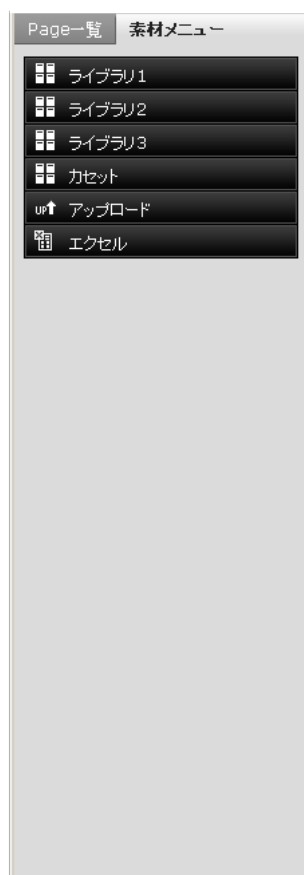
素材を管理するサーバーは、素材プロバイダと呼び、BackStageを使って構築します。素材プロバイダは全く別のサーバーでも構いません。

ユーザグループ毎に素材プロバイダの設定が可能です。

■ ライブラリをクリックすると、下図の素材ライブラリダイアログが表示されます。素材プロバイダ上の素材を、フォルダ構造で参照(利用)することができます。

Edition BackStageで素材のメンテナンスを行い、その素材をプロバイダとなるサーバーで公開する処理(パブリッシュ)を行います。

DAM等を既に運用されている場合は、DAM側をカスタマイズいただくことで、Flexから参照可能であり、そのケースでは、仕様を提示させていただきます。



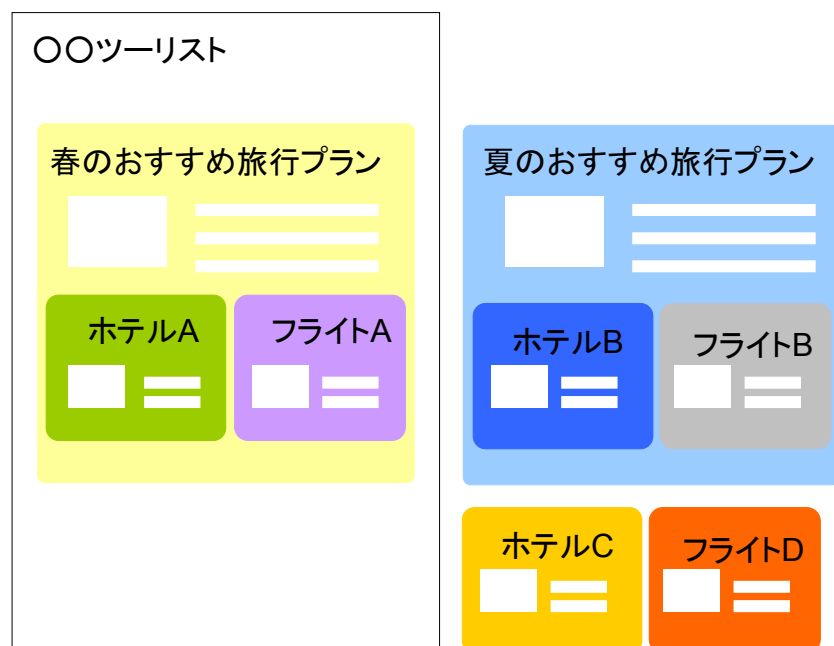
## 21 カセットとは

■ ドキュメントを構成するパーツの差し替えにおいて、画像の差し替え、文字の差し替えといった操作の他に、図形や画像や文字の組合せで構成される あるエリアを、そっくり差し替えたいというニーズがあります。

下図の例で、春のおすすめ旅行プランと夏のおすすめ旅行プランを差し替えるようなケースです。

Flexでは、このような差し替えパーツをカセットと呼びます。カセットは、その中の文字や画像の編集が可能であり、さらに、下図のホテルやフライトのパーツのように、カセットの中に別のカセットを入れ子で含めることが可能です。

春のお勧め旅行プランを夏のお勧め旅行プランに差し替えた後、ホテルBのカセットを編集したり、ホテルCのカセットに差し替えたりすることが可能です。

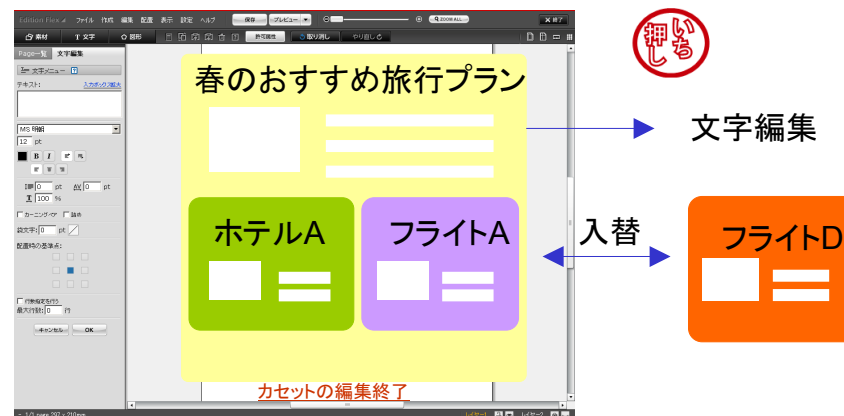


## 22 カセットの編集

■ 編集画面上のカセットを選択すると、編集パネルには、カセットを入れ替えるか、編集するかを選択するコマンドが表示されます。

カセットの内容を編集をクリックすると、編集画面全体に選択したカセット部分だけが抽出されて拡大表示されます。

カセットの中の文字や画像などは、通常と同様のオペレーションで編集することが可能になります。カセット編集中は画面下部にカセット編集中表示され、カセット編集終了のクリックで全体編集に戻ります。



## 22 レイヤー

■ ドキュメントの編集時に、レイヤーを用いることが可能です。  
レイヤー機能は下図の、ボトムバー右端のアイコンで操作します。



レイヤーは4つの状態を選択できます。

状態	レイヤー1		レイヤー2		アイコン
1	アクティブ	表示	ロック	非表示	
2	アクティブ	表示	ロック	表示	
3	ロック	非表示	アクティブ	表示	
4	ロック	表示	アクティブ	表示	

システム内部ではレイヤは無制限の階層数を有していますが、カスタマイズは軽微なプログラム改修を伴います。

レイヤー機能をユーザに提供するか否かを、テンプレート毎、ユーザグループ毎に設定することが可能です。

## 23 基本コマンドの編集パネル一覧(1)

Page一覧 文字編集

≡ 文字メニュー ?

テキスト: [入力ボックス拡大](#)

MS 明朝

12 pt

B  I  ≡  ≡

≡  ≡  ≡

I≡ 0 pt AV 0 pt

**T** 100 %

カーニングベア  詰め

袋文字: 0 pt

配置時の基準点:

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

行数指定を行う  
最大行数: 0 行

キャンセル OK

Page一覧 段組文字編集

≡ 段組文字 ?

テキスト: [入力ボックス拡大](#)

MS 明朝

12 pt

B  I  ≡  ≡

≡  ≡  ≡  ≡

幅: 0 mm 高さ: 0 mm

段数: 1 段 間隔: 0 mm

句読点送り: JIS X 4051準拠

段組みモード: JIS X 4051準拠

段先頭空白: 空白無効

段落先頭空白: 空白無効

I≡ 0 pt AV 0 pt

**T** 100 %  カーニングベア

袋文字: 0 pt

配置時の基準点:

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

キャンセル OK

Page一覧 アーチ文字編集

≡ アーチ文字 ?

テキスト:

アーチ角度: 上30度

MS 明朝

**B**

12 pt

袋文字: 0 pt

角処理: マイター結合

キャンセル OK

Page一覧 QRコード編集

≡ QRコード編集 ?

テキスト: [入力ボックス拡大](#)

背景色:

バージョン: 自動選択

エンコードモード:  
英数字(0-9A-Z \$%\*+-.:/)

誤り訂正レベル: 15%

配置時の基準点:

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

キャンセル OK

## 24 基本コマンドの編集パネル一覧(2)

Page一覧 直線編集

— 直線 ?

スタイル: 実線

線幅: 1 pt 線色: ■

端形状: 始点: なし  
終点: なし

影:  X: 0.0 pt  
Y: 0.0 pt

キャンセル OK

Page一覧 長方形編集

長方形 ?

スタイル: 実線

線幅: 1 pt 線色: ■ 塗色:

角丸: 1 pt 1 pt

グラデーション:  →

変化の割合: 100 %

直線方向 角度: 0 度  
 放射状

影:  X: 0.0 pt  
Y: 0.0 pt

配置時の基準点:

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

キャンセル OK

Page一覧 円編集

円 ?

スタイル: 実線

線幅: 1 pt 線色: ■ 塗色:

グラデーション:  →

変化の割合: 100 %

直線方向 角度: 0 度  
 放射状

影:  X: 0.0 pt  
Y: 0.0 pt

配置時の基準点:

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

キャンセル OK

Page一覧 楕円編集

楕円 ?

スタイル: 実線

線幅: 1 pt 線色: ■ 塗色:

グラデーション:  →

変化の割合: 100 %

直線方向 角度: 0 度  
 放射状

影:  X: 0.0 pt  
Y: 0.0 pt

配置時の基準点:

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

キャンセル OK

## 25 基本コマンドの編集パネル一覧(3)

Page一覧 円弧編集

円弧 ?

スタイル: 実線

線幅: 1 pt 線色: 線色: 塗色: /

影: / X: 0.0 pt  
Y: 0.0 pt

キャンセル OK

Page一覧 楕円弧編集

楕円弧 ?

スタイル: 実線

線幅: 1 pt 線色: 線色: 塗色: /

影: / X: 0.0 pt  
Y: 0.0 pt

キャンセル OK

Page一覧 連続線編集

連続線 ?

スタイル: 実線

線幅: 1 pt 線色: 線色:

端形状: 始点: なし  
終点: なし

影: / X: 0.0 pt  
Y: 0.0 pt

キャンセル OK

Page一覧 多角形編集

多角形 ?

スタイル: 実線

線幅: 1 pt 線色: 線色: 塗色: /

影: / X: 0.0 pt  
Y: 0.0 pt

キャンセル OK

## 26 基本コマンドの編集パネル一覧(4)

Page一覧 ラインマーカー編集

ラインマーカー ?

線幅: 1 pt

階調: 10%

タイプ: 半透明

1インチあたりの線数: 10線

キャンセル OK

Page一覧 バルーン編集

バルーン ?

テキスト:

MS 明朝

ボールド  イタリック

10 pt

線幅: 1 pt

塗色:

端形状: なし

キャンセル OK

Page一覧 引出線編集

引出線 ?

テキスト:

MS 明朝

10 pt

線幅: 1 pt

端形状: なし

キャンセル OK

Page一覧 寸法線編集

寸法線 ?

テキスト: [入力ボックス拡大](#)

MS 明朝

ボールド  イタリック

10 pt

寸法方向: 水平

テキスト位置: 上

線幅: 1 pt

始点: なし

終点: なし

キャンセル OK

Page一覧 マーカー編集

マーカー ?

テキスト:

MS 明朝

ボールド  イタリック

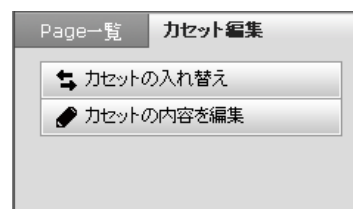
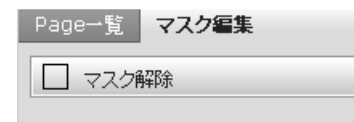
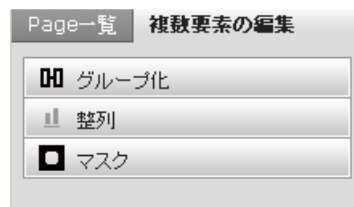
10 pt

線幅: 1 pt

塗色:

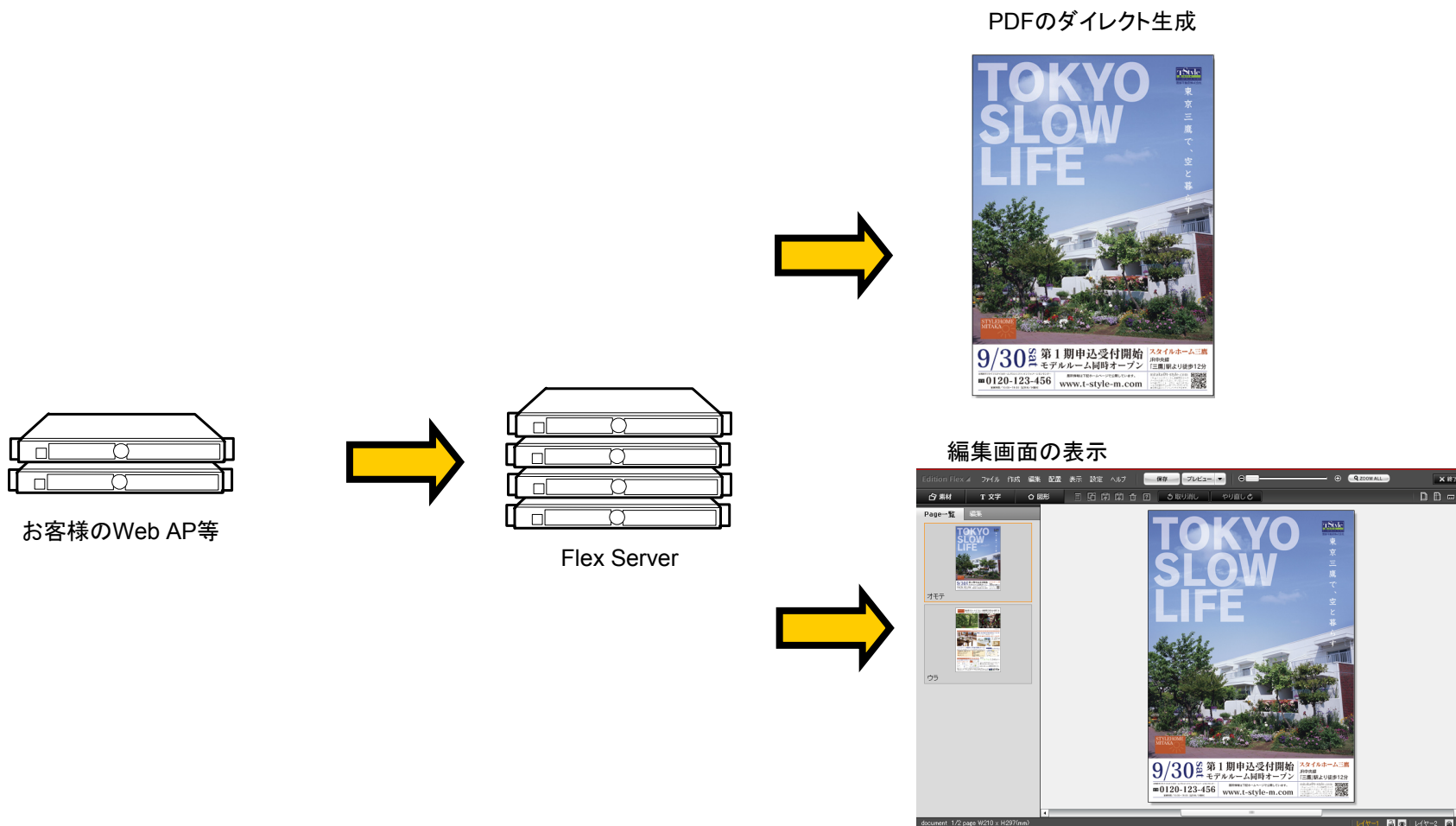
キャンセル OK

## 27 基本編集パネル一覧



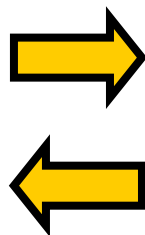
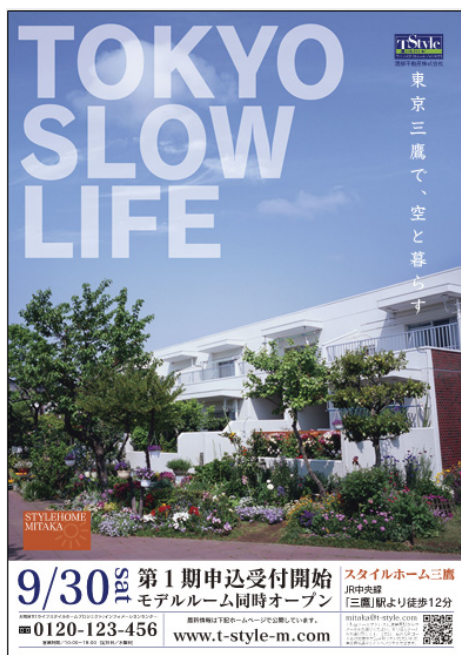
## 28 Webアプリケーション

- Edition Flex は WebアプリケーションとしてAPIを備えており、外部のWeb Serverからの利用が可能です。



## 29 Flex Script

- Edition Flex は Flex Script を読み込み、PDFを生成するAPIを備えています。
- Flex Script とは、グラフィックスレイアウトをテキストで記述したフォーマットで、フォーマットの範囲内で100%の相互再現性を備えています。
- Flex Scriptは、テンプレートオーサリング環境 (Edition BackStage) によるテンプレート編集結果から自動生成することができます。



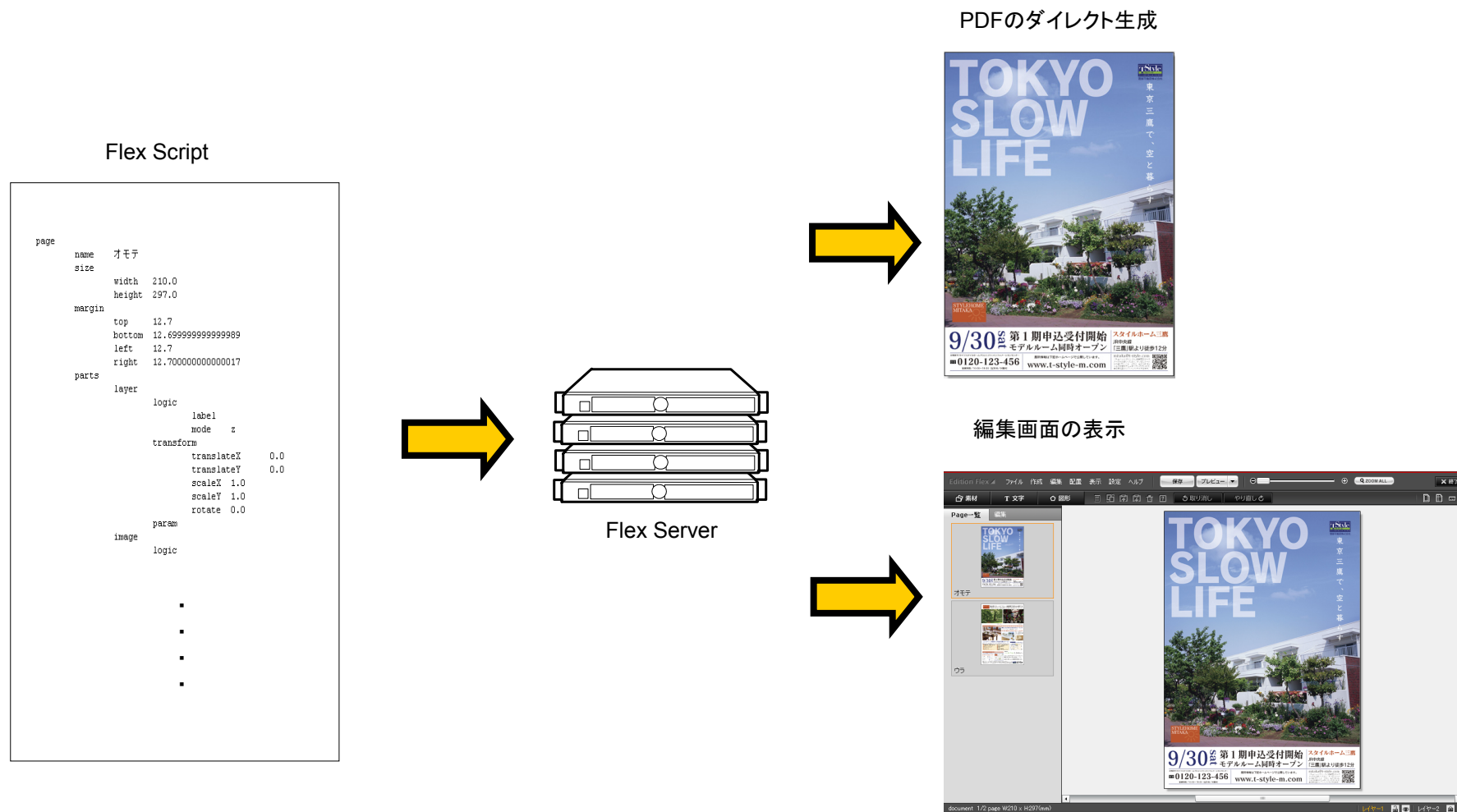
```

page
  name      オモテ
  size
    width   210.0
    height  297.0
  margin
    top      12.7
    bottom   12.699999999999989
    left     12.7
    right    12.700000000000017
  parts
    layer
      logic
        label
          mode      z
        transform
          translateX  0.0
          translateY  0.0
          scaleX     1.0
          scaleY     1.0
          rotate     0.0
      param
    image
      logic
        .
        .
        .
        .

```

## 30 Flex ScriptによるPDF生成

- Edition Flex は Flex Script を読み込みAPIによって、PDFを生成します。
- Flex Serverへの命令によって、直接PDFを生成したり、編集画面を表示することができます。





## 31 Edition Flex の構成

- Edition Flexは、1つまたは複数のEdition BackStageと連携して編集環境を提供します。Edition BackStageはFlexに供給するテンプレートや素材のプロバイダとして動作することに加え、テンプレートのオーサリング環境やScriptの出力機能を提供します。
- 外部のDAM等を素材プロバイダとして利用することも可能です。

